

みなさまと病院をつなぐ情報誌

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください。

医療の未来を担う一歩を踏み出しました!



令和8年度 新入職員入社式 ※詳細は2Pをご覧ください。

特集1

立川メディカルセンター

令和8年度 新入職員入社式

2・3P

晴麗看護学校／晴陵リハビリテーション学院 入学式

特集2

薬の力で病院を支える ～薬剤部のご紹介～

4・5P

学びと挑戦の日々

～初期臨床研修を振り返って～

6P

臨床研修医修了証授与式

■登録医のご紹介

7P

ひぐち整形外科クリニック／樋口 賢太郎先生

管理栄養士おすすめ とっておき簡単レシピ⑤

立川メディカルセンターグループ案内 8P

令和8年度 新入職員入社式

■令和8年4月1日(水)／立川総合病院 講堂

令和8年度社会医療法人立川メディカルセンター入社式が行われ、73名の職員が入职しました。緊張した様子の中にも、これからの仕事に対する意欲が感じられる真剣な表情で入社式に臨み、理事長の祝辞を受けた後、新入職員からこれからの抱負が語られました。

入社式の後は、全体のオリエンテーションで新社会人としての心構え等を学び、各部署での研修を開始しました。

4月22日(水)には、恒例のお花見新人歓迎会も行われ立川メディカルセンターの職員として第一歩を踏み出しました。

令和8年度新入職員を迎えて

社会医療法人立川メディカルセンター 理事長 吉井 新平

この4月、立川メディカルセンターは医師21名、看護職39名ほか職員52名、計73名に入职して頂きました。どの業界も人手不足、特に医療系人材不足と言われている中、県内外から多くの職員に来て頂いたことに心より感謝申し上げます。

皆様が「当法人に入职して本当に良かった」と思って頂けるよう、誇りを持って事業を進めていきます。

2026年4月、世界情勢は大混乱の真っ只中、明日、来月、数か月後の予測もつかない中、医療・介護系の足元を見れば本県も公的病院改革、二次医療圏再編等が進行中、さらに2040年を見据えた医療体制構築もスタートしました。当法人も主体的に迅速・的確な対応を進めて行きます。

立川総合病院は高度救急救命に迅速対応可能な革新的な設計、新築後10年、その使い勝手が益々進化中。職員のワークシェアも進んでいます。

悠遊健康村病院群は本来の回復期・リハビリ機能等に加え、透析部門が順調に稼働、今年さらに透析台数を増加します。

柏崎厚生病院群は地域の状況に合わせ医療体制も柔軟に対応し、効率的に地域医療に貢献できるよう体制強化中です。2つの医療人育成機関も健闘しております。

あらためて新入職員の皆さんへ、私たちとともに地域から託された使命に向かってともに歩んでいきましょう。



新入職員の挨拶 [令和8年4月1日入职]



立川総合病院 CE科 小宮山 大翔

この春、立川総合病院の臨床工学技士として入职しました。日常業務の中でやりがいと楽しさを感じながら、先輩方の豊富な知識と正確な行動に触れ、私もこうなりたいと目標ができました。患者さまの命を支える責任を胸に、安全で確実な医療機器管理を行うと共に、医療技術の進歩に対応できるよう日々学び、チーム医療の一員として信頼される臨床工学技士を目指します。至らない点もありますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

柏崎厚生病院 看護師 長澤 彩紗

この度、柏崎厚生病院に看護師として勤務することとなりました。患者さま一人ひとりの想いに寄り添い、安心して療養していただける環境づくりに努めてまいります。

まだ未熟ではございますが、日々学ぶ姿勢を大切にし、専門職としての責任を自覚しながら、信頼される看護師を目指して精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

悠遊健康村病院 作業療法士 小笠原 茉里

この度、悠遊健康村病院の作業療法士として入职いたしました。まだ緊張や不安もありますが、一日も早く皆さまのお役に立てるよう、日々努力してまいります。先輩方にご指導いただきながら多くを学び、患者さま一人ひとりに寄り添った温かい支援を大切にしていきたいと思っています。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、初心を忘れず、成長してまいります。よろしくお願いいたします。

4/3

新入職員オリエンテーション

入社後は、新入職員オリエンテーションを行いました。法人の理念や病院の概要、社会人としての心構えや仕事への取り組み方等基礎となる考え方を学びました。新入職員は、メモを取りながら熱心に耳を傾け、病院の一員として働くイメージを膨らませている様子が伺えました。

座学の他、グループワークとして人間知恵の輪を行いました。グループに分かれ、手を繋ぎ知恵の輪となった状態から全員で協力して元の輪を目指すワークです。どうすればスムーズに元の状態になるのか楽しみながら話しあうことで一体感を持ちながら取り組むことができました。



真剣な表情で仕事の心得を学びました



グループワークでは、笑顔も見られ少しずつ打ち解けてきました

今回のオリエンテーションが新入職員にとって安心してこれからの1歩を踏み出すことのできるきっかけになることを期待しています。

4/22

お花見新人歓迎会

4月22日(水) アオーレ長岡にてお花見新人歓迎会を開催しました。本年度は、計73名の職員を迎え、部署を超えて、にぎやかな雰囲気の中で交流を深めました。

冒頭の理事長あいさつでは、法人の紹介や今後の歩みに触れながら歓迎のメッセージが伝えられ、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。

誓いの言葉では、脳神経外科 医長 野澤 孝徳 医師(医局代表)と看護師 山岸 美晴さん(職員代表)からこれからの抱負が語られ、会場からは、温かい拍手が送られました。

歓談の時間には、入社式やオリエンテーションを通じて出会った仲間達と気持ちを新たに頑張っていこうと声を掛け合



医局代表あいさつ



職員代表あいさつ

い、先輩職員とも交流を深めました。

立川メディカルセンターで一丸となって、一人ひとりにご満足いただける医療を届けられるよう新しい仲間と共に歩んでいきます。

晴麗看護学校／晴陵リハビリテーション学院

令和8年度 入学式

4月1日(水)

晴陵リハビリテーション学院

4月3日(金)

晴麗看護学校

4月1日(水)に晴陵リハビリテーション学院、4月3日(金)に晴麗看護学校にてそれぞれ入学式が行われました。

■ 晴麗看護学校

看護学科 22名

■ 晴陵リハビリテーション学院

理学療法学科 23名

作業療法学科 8名

計53名の入学生を迎え入れることができました。新入学生は、新しい環境や仲間との出会いに、緊張感を持ちながら、明るくいきいきとした表情で入学式に臨んでいました。これから多くの事を学び、様々な経験を重ねていくことになります。失敗を恐れず挑戦し、自分の可能性を広げながらも実りある学生生活となることを心から期待しています。



晴麗看護学校入学式



晴陵リハビリテーション学院入学式

薬の力で病院を支える

～立川総合病院 薬剤部のご紹介～

立川総合病院 薬剤部について

立川総合病院薬剤部では、安心且つ有効な薬物治療が行われるよう、お薬の専門家として医師、看護師、他スタッフと連携を密に業務に取り組んでいます。

病院薬剤師として、患者さまへのお薬の説明や持参薬の確認、スタッフへのお薬の情報提供や患者さまそれぞれに適した投与量やお薬の選択の提案等幅広い現場で活躍しています。



当院薬剤師の活躍の現場

病院薬剤師は「院内薬局でお薬を渡してくれる」だけでなく、様々な仕事をしています。
今回はその中でも主要な業務をご紹介します。

調剤業務

薬剤師の基本。医師の処方箋に基づき、飲み合わせ、副作用の有無などをチェックし、患者さまが安全かつ効果的にお薬を使用できるよう調剤します。疑問があれば医師に確認（疑義照会）して安全性を確保します。



注射薬・院内製剤業務

注射薬は安全に投与できるように、患者さまごとに1つずつお薬をセットしています。医師が処方した注射薬の用法・用量や投与期間などを確認します。抗がん剤は安全キャビネットという設備内で注意しながら調製しています。また、販売されていないお薬はクリーンベンチという設備にてさまざまな製剤を調製しています。



病棟業務

薬剤師が調剤室を離れて入院病棟にて、医師や看護師など多職種と連携しながら患者さまの薬物療法を直接サポートします。お薬の効果、飲み方、注意すべき副作用を患者さまやご家族に説明します。ナースステーションに配置されているお薬が適切に保管・期限管理されているかも確認しています。



入院時持参薬鑑別業務

入院前に服用していたお薬を病院へ持参していただき、お薬手帳も確認しながら鑑別します。種類が多かったり、バラバラになっていることもあり時間がかかりますが、治療する上で重要な情報のひとつです。



医薬品情報管理業務

医薬品を適正かつ安全に使用するために最新の医薬品情報を日々収集しています。医師や看護師からの多くの質問に対してスムーズに対応できるように努めています。収集した医薬品情報は院内向けにニュース、コラムなどに加工して定期的に発行しています。



保険薬局との連携

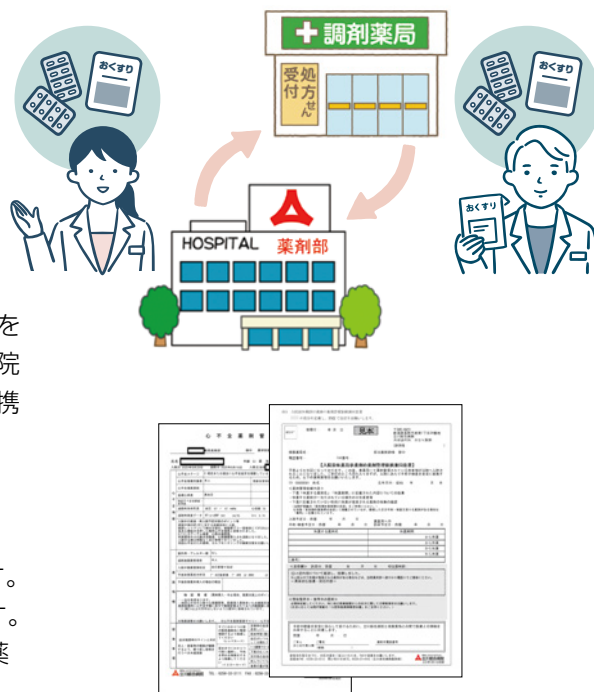
「病院の薬剤師」と「街の保険薬局（かかりつけ薬局）の薬剤師」が、お薬手帳や服薬情報提供書などを活用し連携しています。退院後も切れ目のないサポートを目指しています。

●入院前の休薬指示薬剤に関する連携

手術・検査・処置の安心安全な実施のために休薬（お薬を一時的にお休みすること）が必要なことがあります。入院前の休薬を適切に実施するために、病院と保険薬局で連携し情報の共有・指導の充実を図っています。

●心不全患者における連携

再入院の防止と症状の早期発見を最大の目的としています。保険薬局より、受診と受診の間にフォローアップを行います。心不全入院の退院直後は悪化しやすいため、病院と保険薬局での継続的なモニタリングが重要です。

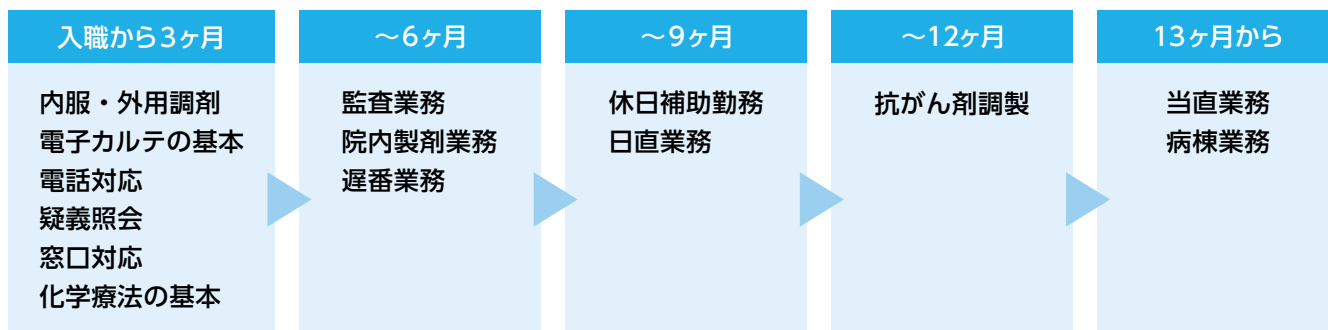


新入職員研修について

当院では、新入職員の皆さんが不安なく業務を身に付けていけるよう薬剤部全体でバックアップする体制を整えています。今回は、入職から1年間の基本的なスケジュールをご紹介します。

教育担当がメインとなり、ひとりひとりの進度にあわせて、指導スケジュールを組み、薬剤部全体で不安なく進行できるようにします。

新人教育スケジュールの一例



調剤業務・注射業務・病棟業務を行い、薬剤師としてのスキルアップを目指します!!



学びと挑戦の日々 ～初期臨床研修を振り返って～



立川綜合病院研修医として2年間の初期研修を修了した嘉陽先生と
1年目を終えた白鳥先生にコメントをいただきました。
多くの経験や学びと共に1年間を駆け抜けた先生達をご紹介します。



立川綜合病院 研修医 白鳥 太郎

日頃熱心に指導してくださる先生方、優しく見守ってくださる患者さまや病院スタッフの皆様のおかげで、気づけば初期研修1年目終了が目前となっています。この場を借りて改めて皆様に感謝申し上げます。

研修医1年目を振り返り自分の中の教訓として印象に残っている出来事をお話します。

病院のシステムにも少し慣れてきた6月の呼吸器内科をローテーションしている時のことでした。受け持ち患者さまの回診を終えた時、肺癌に対して化学療法施行中の入院患者さまが急変したのです。病棟に他の医師はおらず、自分が診察することになりました。冷や汗をかきながら腹部の激痛を訴える患者さまを前に怯んだことを覚えています。診察と並行し、受け持ち患者さまではなかったため入院経過などの詳細は頭に入っておらず、必死にカルテで情報収集を行いました。自分の拙い知識を総動員し鑑別を考え、検査オーダーを立てました。結果、化学療法に伴う腸管穿孔の診断で外科の医師に引き継ぐことになりました。今振り返るともっとこうすればよかったと後悔、反省点が浮かんできます。同時に普段から患者急変に対して冷静に対応されている先生方を改めて尊敬する機会となりました。

千里の道も一歩から。まだ志望科は決めかねていますが、こうした経験を積み重ねて自分が理想とする臨床医へ近づけるよう日々医療活動に従事できればと思っています。

そして残り1年出来るだけ多くのことを吸収し、自分の将来像をしっかりと考え、それに向かって着実に力をつけていければと思います。



立川綜合病院 研修医 嘉陽 勇太

初期研修のローテーションは、施設によって多少の自由はあるものの、多くの場合はあらかじめ決められた枠組みから選ぶのが一般的です。しかし、当院では研修医同士で相談しながら希望を組み合わせることができ、進路が未定の私にとって最適な環境でした。単にスキルを身につけるだけでなく、自分の興味や適性を深く知る機会にもなりました。

また、上級医やスタッフ、同期に恵まれたことも、私の研修生活を充実させてくれました。知らないことや不慣れなことが多い中でも、上級医の丁寧な指導や具体的なアドバイス、そして同期との情報交換や励ましによって、困難な状況でも前向きに取り組むことができました。

また、患者さまから「ありがとう」や「頑張ってるね」といった言葉をいただいた経験は、医師としての責任感ややりがいを強く感じる瞬間でした。

研修生活は仕事だけでなく、プライベートも充実していました。同期と一緒に花見や旅行に出かけたり、忘年会の出し物にチャレンジしたことは、同期との絆を深める貴重な時間となりました。このように、仕事とプライベートのメリハリをつけられる環境が、充実した研修生活を支えてくれました。

最後になりますが、この2年間で先生方や職員の皆様、そして患者さまから学んだことは、私の医師としての基盤となります。患者さまの声や日々の診療経験を通じて、医療に対する責任感や人に寄り添う姿勢を学ぶことができました。今後は、立川綜合病院の先生方やスタッフのように、地域の方々から頼られ、愛される医療を提供できる医師になりたいと強く思っています。

令和7年度【第21期生】臨床研修医修了証授与式

令和8年3月19日(木)
ホテルニューオータニ長岡

ホテルニューオータニ長岡にて令和7年度臨床研修医修了証授与式が執り行われました。

2年間の初期臨床研修プログラムを修了した研修医に対して岡部 正明 院長より臨床研修修了証が授与され、指導にあられた上級医・指導医の先生方からは記念品とメッセージが贈られました。

研修医の先生方からもこれからの抱負と決意が述べられ新しい門出を盛大にお祝いしました。

■今後の進路（左から順に）

青木 大典 先生	東京都立墨東病院 整形外科
池田 悠 先生	千葉大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科
浦田 理 先生	立川綜合病院 麻酔科
嘉陽 勇太 先生	長岡赤十字病院 産婦人科
鴻野 暁 先生	東京医科大学病院 泌尿器科
呉 恆諭 先生	順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科



立川綜合病院では病院見学を随時受け付けています。
希望する日時・診療科等をお知らせください。

立川綜合病院 臨床研修担当
〒940-8621 新潟県長岡市旭岡1丁目24番地
TEL: 0258-33-3111
詳しくは臨床研修医サイトをご覧ください▶



ひぐち整形外科クリニック

院長

樋口 賢太郎 先生

- 開業年月／令和7年10月
- 診療科目／整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
- 住所／〒940-0861 長岡市川崎町779-1
- TEL／0258-36-7688
- ホームページ／<https://higuchiseikei.or.jp/>
- ご出身地／新潟で生まれ育ちました。
- ご趣味／趣味は家族旅行で、県内外へ出かけることを楽しみにしています。
最近子どもたちとキャンプやアウトドアを楽しむ機会も増えています。

自院の特徴と診療方針

当院では一般整形外科診療に加え、スポーツ障害、骨粗鬆症治療、リハビリテーションに力を入れております。特にリハビリテーションでは、理学療法士による運動器リハビリを通じて、痛みの改善だけでなく、関節機能の回復や筋力強化、再発予防まで見据えたサポートを行っています。患者さん一人ひとりの生活背景や目標に寄り添い、丁寧に分かりやすい説明を心がけ、地域に根ざした医療を提供してまいります。

診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:45～12:45	○	○	○	○	○	○	休診日
15:00～18:00	○	○	○		○		

※受付終了時間：午前は12:30、午後は17:30まで



★管理栄養士おすすめ★

とっておき 簡単レシピ ⑤1

小松菜とベーコンの
ミルクスープ

今回は小松菜を使った、野菜たっぷりスープの簡単レシピです。小松菜の旬は冬ですが、通年出荷され価格も安定している緑黄色野菜です。アクやクセが少なく、下ゆでなしでそのまま調理できるので時短料理に向いています。牛乳並みのカルシウムとほうれん草よりも多い鉄分を含みます。抗酸化作用や美肌効果のあるβ-カロテンやビタミンC、ビタミンEもバランスよく含んでいて「天然のマルチサプリメント」のような食材です。

材料 (2人分)

- 小松菜…………… 1/2袋 (100g)
- しめじ…………… 1/2株 (100g)
- 玉ねぎ…………… 小1/2個 (50g)
- ベーコン…………… 4枚 (30g)
- オリーブオイル…………… 大さじ1 (14g)
- 牛乳…………… 1カップ (200cc)
- 水…………… 1.5カップ (300cc)
- コンソメ ……キューブ1個 (5g)
- 塩…………… 少々
- こしょう …… お好みで



栄養価
一人分 224kcal
たんぱく質 7.8g
塩分 1.5g

作り方

- ① 小松菜、しめじ、玉ねぎ、ベーコンを食べやすい大きさに切る。
- ② ①で切ったものを、オリーブオイルで炒める。
- ③ 野菜がしんなりしたら牛乳、水、コンソメを入れて煮る
- ④ 野菜に火が通ったら、塩こしょうで味を調えてできあがり。

ワンポイント
アドバイス

このメニューでは、
約200mgの
カルシウムを摂る
ことができます。

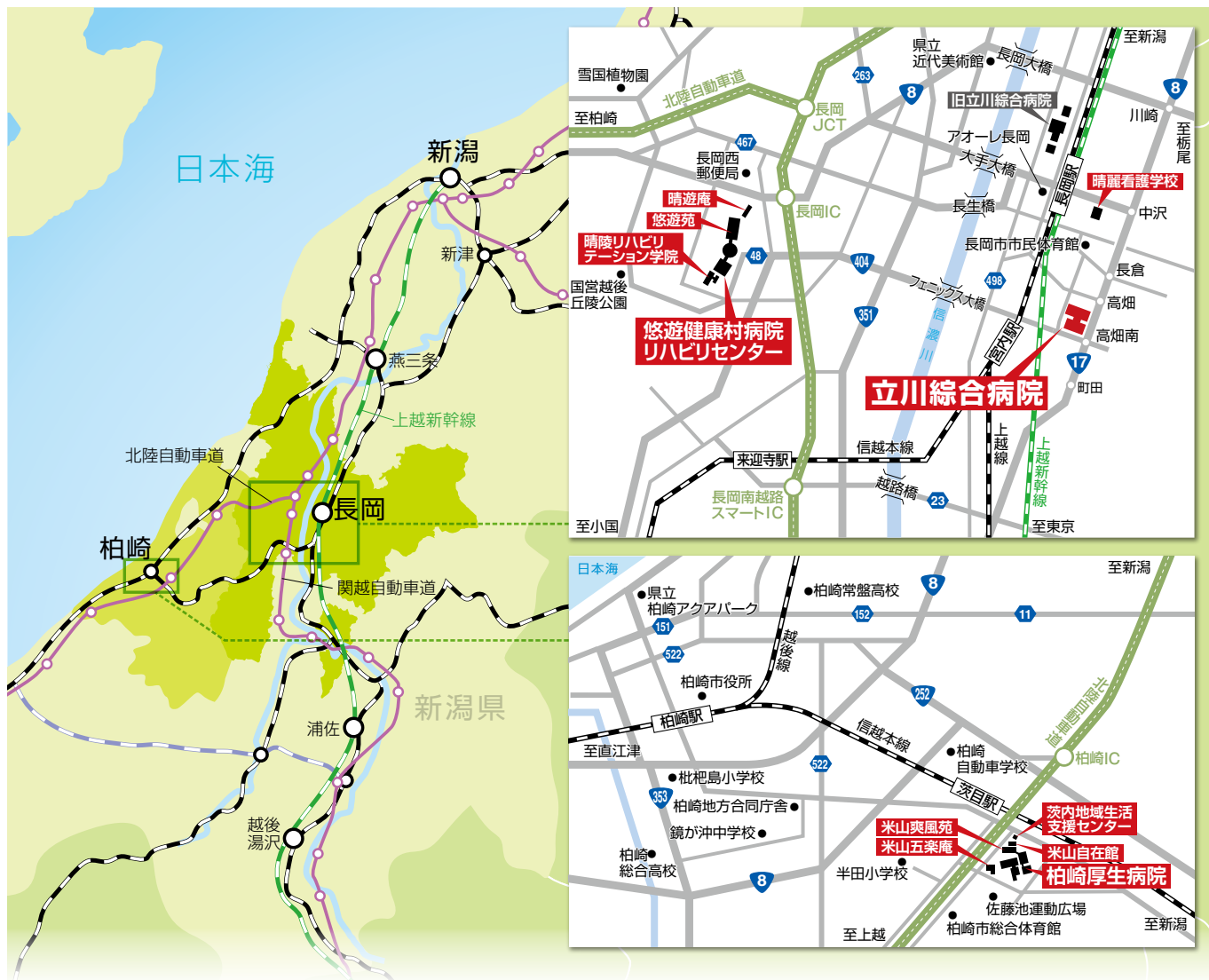




社会医療法人

立川メディカルセンターグループ案内

Tachikawa Medical Center Group



立川総合病院

- 消化器センター
- 循環器・脳血管センター
- 呼吸器センター
- 生殖医療センター

〒940-8621 新潟県長岡市旭岡1-24
TEL(0258)33-3111 FAX(0258)33-8811

■腎センター

〒940-8621 新潟県長岡市旭岡1-24
TEL(0258)35-5379 FAX(0258)35-5334

■たちかわ総合健診センター

〒940-8621 新潟県長岡市旭岡1-24
TEL(0258)36-6221 FAX(0258)34-1113

悠遊健康村病院・リハビリセンター

〒940-2138 新潟県長岡市大字日越337
TEL(0258)47-8500 FAX(0258)47-8555

- たちかわ訪問看護ステーション
- TEL(0258)47-8518 [FAX兼用]

グループホーム 晴遊庵

〒940-2138 新潟県長岡市大字日越337
TEL(0258)47-8520 [FAX兼用]

介護老人保健施設 悠遊苑

〒940-2138 新潟県長岡市大字日越337
TEL(0258)47-8511 FAX(0258)47-8507

■居宅介護支援事業所 悠遊苑

TEL(0258)47-8523 FAX(0258)47-8507

柏崎厚生病院

■よねやま訪問看護ステーション

〒945-1392 新潟県柏崎市大字茨目字ニツ池2071-1
TEL(0257)22-0111 FAX(0257)22-0112

認知症高齢者グループホーム

米山五楽庵

〒945-1392 新潟県柏崎市大字茨目字ニツ池2071-1
TEL(0257)32-2010 FAX(0257)32-2018

介護老人保健施設 米山爽風苑

〒945-1392 新潟県柏崎市大字茨目字ニツ池2071-1
TEL(0257)22-0111 FAX(0257)22-0112

柏崎市東地域包括支援センター

〒945-1432 新潟県柏崎市大字善根6769-1
TEL(0257)31-2122 FAX(0257)31-2120

精神障害者地域生活支援センター

茨内地域生活支援センター

〒945-1341 新潟県柏崎市大字茨目字巻山1260-1
TEL(0257)22-1215 [FAX兼用]

社会福祉法人晴真会

指定障害福祉サービス事業所

米山自在館

〒945-1341 新潟県柏崎市大字茨目字ニツ池2043
TEL(0257)21-1414 FAX(0257)41-5888

社会医療法人立川メディカルセンター

晴麗看護学校

〒940-0041 新潟県長岡市学校町3丁目1-22
TEL(0258)39-4181 FAX(0258)39-4188

学校法人晴陵医療学園

晴陵リハビリテーション学院

〒940-2138 新潟県長岡市大字日越319
TEL(0258)47-4690 FAX(0258)47-4691

バックナンバーをご希望の方は下記までご連絡下さい。

■編集・発行



社会医療法人

立川メディカルセンター

〒940-8621 新潟県長岡市旭岡1丁目24番地 TEL(0258)33-3111 FAX(0258)33-8811
https://www.tatikawa.or.jp E-mail tatikawa@tatikawa.or.jp